

学校長だより

～学校や地域に誇りを持つ児童の育成～

九度山小学校

冬休み号

令和3年12月24日

子どもたちが楽しみにしている冬休みになります。コロナ禍が少し落ち着いたかと思えば、変異ウイルスが気になるようになってきています。クリスマスからからお正月にかけて、気をつけながらも楽しいお休みになればと思います。

150周年の実行委員会も3つの部会に分かれ何回かご相談をさせていただいています。経過等は、またお知らせさせていただきます。

保護者の皆様におかれましては、日常生活から運動会や授業参観など様々な行事において、ご理解・ご協力・ご支援、本当にありがとうございました。よい年を迎えられますようお祈り申し上げます。

先生たちの冬休みの思い出

- 大みそかの夜から元旦にかけて、家族で紅白歌合戦をみて、近くの神社へ初詣に行きました。そこで友だちの家族といっばい出会ってあいさつを交わすのが楽しみでした。
- 小学校数年間、厚紙をはがきの大きさに切り切手らしきものを貼る手作りした“年賀状”を手に元旦早朝、父と姉3人で自転車で友だちの家に配って回っていました。
- 年末、大阪の伯父から「お正月に着て」と服をいただきました。その年は、豪華な冬用コートでうれしかったです。そのコートを着て初詣に行きました。
- 大みそかの夜、一人一匹の大きな焼き魚を食べる習わしがあり、父が竹串に刺して炭火でゆっくり焼いてくれた。焼きながらいろんな話もした。焼き魚は何ともいえずおいしかった。
- 年末は、母が作るおせちを美しく詰めるということが私の役目でした。回を重ねるごとに工夫をこらすも、目の前にある料理の誘惑に負け、つまみ食いばかりしていました。
- サンタクロースを信じていた私の心の中にはサンタクロースの部屋があると教えてもらいました。わらぐつの中の神様のように、目に見えない物を信じる心をずっと大切にしています。
- 子どもの頃は、年に一度は必ず雪が積もっていました。家の前が坂道になっていたので、雪が積もるたびに、お姉ちゃんとそりにのり、日が暮れるまで滑っていました。
- 元旦は、毎年初売りに。もらったお年玉を眺めて何を買うか考えるのが、新年最初の楽しみでした。文房具にゲームにおもちゃ。目を輝かせていたのを今でも思い出します。
- 冬休みには、親戚の人がたくさん集まり、杵とうすでもちつきをして、お正月用のおもちをつくりました。子どもは、おもちを丸めました。できたてのおもちがとてもおいしかったです。

- 冬休みの思い出といえば家族で山梨まで初詣に行くことが楽しみでした。1月2日の夜から出かけ3日の6時にお勤めをします。少し夜遊びをしている感じがうれしかったです。
- 「もちつきを手伝って」とたのまれて、うきうきして行ったけど、きねとうすはなく、あったのは動く白い大きなおもち。ショックだし熱いしですぐにげてしまいました。
- 冬休みは、クリスマスにお正月、妹とお母さんの誕生日と、おいしいものを食べるイベントがたくさんありました。そのため毎年3kgは幸せに太っていました。
- お正月といえばおもち！！年末には、おもちつき。へっついさんで、もち米を蒸し、杵とうすでつきました。つきたてはとてもおいしくて、いくつでも食べられました。
- 普段からそうじをするのはあまり好きではありませんでしたが、年末は、はりきって取り組みました。あまりに細かい所まで掃除してあっという間に一日が終わりました。
- 私の家族はお正月に三社参りをしています。地元の神社、名前をつけてもらった神社、檀原神宮の三社です。子どもの頃、お年玉を片手にワクワクしながらの初詣でした。
- 「大好きな おせちのごぼう 祖母の味」お正月に食べるおせちの中で一番好きなのは、ごぼう煮です。今年も祖母の味を思い出し、ごぼうが入ったおせち作り頑張ります。
- 「小学校の先生になれますように」小6の頃に絵馬に書いたことを覚えています。すてきな先生との出会いにより、今の自分がいます。周りの人に恵まれていることに感謝。
- 家族で初詣に行くと、兄は甘酒をもらい、おいしそうに飲んでいました。兄のまねをしたい私は、おいしいと感じない甘酒を鼻をつまみながら飲みました。
- お正月では、1月2日に和歌浦天満宮と春日神社へ書き初めに行くことが毎年の恒例行事でした。年の初めに集中することで、心が引きしまりました。

*** 楽しい冬休み、よいお年を！ ***

12月の子どもたち



卒業証書の紙すき



橋本駅駅長さんによる学習



業間運動の駆け足